

令和5年度 事業計画

自 令和5年2月 1日

至 令和6年1月31日

1. 工芸美術に関する展覧会（公募）の開催

・第61回 日本現代工芸美術展

会 期：令和5年4月19日（水）～4月24日（月）

会 場：東京都美術館（東京都台東区上野公園8-36）

授 賞：内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・東京都知事賞・NHK会長賞・
現代工芸理事長賞・現代工芸本会員賞
現代工芸大賞・現代工芸賞・現代工芸新人賞

そ の 他：東京会場にて、授賞式及び懇親会を開催

巡 回 展：東京会場終了後、京都、名古屋、金沢、横浜の4会場を巡回予定

2. 工芸美術に関する講演会・研究会等の開催

・ギャラリートークの開催

日本現代工芸美術展の会期中に、本会員による作品解説（作品制作意図・素材・技法等を詳しく解説）

・テクニカルパネルの展示

日本現代工芸美術展の会場内に、作品の素材、技法等を解説した写真パネルを展示する。展示作品と連動させることで来場者の理解を深める

・講演会の開催

開催日：令和5年4月19日（水）

会 場：東京都美術館 講堂（東京都台東区上野公園8-36）

3. 機関誌及び工芸美術に関する図書の発行

・「現代工芸ニュース」の発行

会員・出品者・美術関係機関・一般等に頒布

・日本現代工芸美術展図録の作成

全ての展示作品をオールカラーで収録する

今までの図録の改良点を検討し、第61回展以降の図録に反映する

4. デジタル・アーカイブ

創立60周年を機に開始された。60年を越えて工芸美術を牽引してきた先人達の歴史を後生に伝え、研究などに有効活用できるようにすることを目的とする。図録、現代工芸ニュース、過去の写真等の資料をデジタル化し保存する。また、現在進行中である作家個人データベースについては、引き続き登録等の規模拡充を行い、情報更新を含めた管理体制の確立を行う。

5. その他定款の目的を達成するために必要な事業
現代工芸美術運動の展開については各地方作家群による地方ごとの活動を含め、
様々なテーマを設定し研究会を開催する

6. 管理等
 - ・ 定時総会、理事会の開催（常務理事会 2 回、理事会 4 回を予定）

以上